【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2006-230623(P2006-230623A)
【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2006-035
【出願番号】特願2005-47958(P2005-47958)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３５０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年5月24日(2007.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技機において遊技を行うための多量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第１特定遊技状態が発生する可能性が低い遊技状態である第１遊技状態と、該第１遊技状態と比較して前記第１特定遊技状態が発生する可能性が高い第２遊技状態を有し、前記各遊技状態において予め定められた抽選条件の成立に応じて前記第１特定遊技状態を発生させるか、もしくは、該第１特定遊技状態と比較して少量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第２特定遊技状態に続いて前記第２遊技状態を発生させる抽選を少なくとも行い、該抽選結果に応じた演出制御を行うとともに、該演出制御後において当該抽選結果に応じた遊技状態とするための遊技状態制御を行う遊技機に対して設けられ、該遊技機における遊技情報を表示するための遊技情報表示装置であって、
前記第１特定遊技状態もしくは第２特定遊技状態が発生している期間を特定可能な特定遊技状態情報が入力される情報入力部と、
前記特定遊技状態情報の入力を検出する特定遊技状態情報検出手段と、
隣接する他の遊技情報表示装置に対して前記第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する連携報知処理の実施を要求する連携報知要求情報を出力する連携報知要求情報出力部と、
隣接する他の遊技情報表示装置から出力される前記連携報知要求情報が入力される連携報知要求情報入力部と、
前記連携報知要求情報の入力を検出する連携報知要求情報検出手段と、
前記第１特定遊技状態の実施時間よりも短く、且つ前記第２特定遊技状態の実施時間よりも長い閾値時間を設定する閾値時間設定手段と、
前記特定遊技状態情報の入力の検出に応じて計時を開始する計時手段と、
前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点において前記特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出しているときには前記第１特定遊技状態の発生と特定し、該第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第１報知処理と、前記連携報知要求情報出力部から前記連携報知要求情報を出力する第１外部出力処理とを含む第１報知制御を実施する一方、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点において前記特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出していないときには前記第１報知制御を行わない特定報知制御手段と、

前記連携報知要求情報検出手段が前記連携報知要求情報の入力を検出したことに基づいて、前記連携報知処理並びに該入力を検出した連携報知要求情報に対応した連携報知要求情報を前記連携報知要求情報出力部から出力する第２外部出力処理を実施する連携報知制御手段と、

備えることを特徴とする遊技情報表示装置。

【請求項２】

前記特定報知制御手段はさらに、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点において前記特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出していないときに、前記２特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第２報知制御処理を実施する請求項１に記載の遊技情報表示装置。

【請求項３】

遊技機において遊技を行うための多量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第１特定遊技状態が発生する可能性が低い遊技状態である第１遊技状態と、該第１遊技状態と比較して前記第１特定遊技状態が発生する可能性が高い第２遊技状態を有し、前記各遊技状態において予め定められた抽選条件の成立に応じて前記第１特定遊技状態を発生させるか、もしくは、該第１特定遊技状態と比較して少量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第２特定遊技状態に続いて前記第２遊技状態を発生させる抽選を少なくとも行い、該抽選結果に応じた演出制御を行うとともに、該演出制御後において当該抽選結果に応じた遊技状態とするための遊技状態制御を行う遊技機に対して設けられ、該遊技機における遊技情報を表示するための遊技情報表示装置であって、

前記第１特定遊技状態もしくは第２特定遊技状態が発生している期間を特定可能な特定遊技状態情報が入力される情報入力部と、

前記特定遊技状態情報の入力を検出する特定遊技状態情報検出手段と、

隣接する他の遊技情報表示装置に対して前記第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する連携報知処理の実施を要求する連携報知要求情報を出力する連携報知要求情報出力部と、

隣接する他の遊技情報表示装置から出力される前記連携報知要求情報が入力される連携報知要求情報入力部と、

前記連携報知要求情報の入力を検出する連携報知要求情報検出手段と、

前記第１特定遊技状態の実施時間よりも短く、且つ前記第２特定遊技状態の実施時間よりも長い閾値時間を設定する閾値時間設定手段と、

前記特定遊技状態情報の入力の検出時点から該特定遊技状態情報の入力の非検出時点までの時間を計時する計時手段と、

前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも長いときには前記第１特定遊技状態の発生と特定し、該第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第１報知処理と、前記連携報知要求情報出力部から前記連携報知要求情報を出力する第１外部出力処理とを含む第１報知制御を実施する一方、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも短いときには前記第１報知制御を行わない特定報知制御手段と、

前記連携報知要求情報検出手段が前記連携報知要求情報の入力を検出したことに基づいて、前記連携報知処理並びに該入力を検出した連携報知要求情報に対応した連携報知要求情報を前記連携報知要求情報出力部から出力する第２外部出力処理を実施する連携報知制御手段と、

備えることを特徴とする遊技情報表示装置。

【請求項４】

前記特定報知制御手段はさらに、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも短いときには、前記２特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第２報知制御処理を実施する請求項３に記載の遊技情報表示装置。

【請求項５】

対応する遊技機が、前記遊技機または前記第２特定遊技状態を有しない遊技機のいずれであるかを選択設定する機種選択手段をさらに備え、

前記特定報知制御手段は、前記機種選択手段において前記第２特定遊技状態を有しない遊技機が選択設定されているときは、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点における前記特定遊技状態情報の入力検出の有無や、前記計時手段による計時時間の長さに係わらず、前記特定遊技状態情報の検出に基づいて前記第１報知制御を実施することを特徴とする請求項１～４のいずれかに記載の遊技情報表示装置。

【請求項６】

前記機種選択手段は、前記特定遊技状態情報検出手段により前記特定遊技状態情報の入力が検出されている入力時間を計時し、該計時した入力時間が予め定められた所定時間よりも短いときは前記遊技機を選択設定し、該計時した入力時間が予め定められた所定時間よりも長いときには前記第２特定遊技状態を有しない遊技機を選択設定することを特徴とする請求項５に記載の遊技情報表示装置。

【請求項７】

前記閾値時間設定手段は、前記特定遊技状態情報検出手段により前記特定遊技状態情報の入力が検出されている入力時間を計時し、該計時した入力時間に基づいて前記閾値時間を設定することを特徴とする請求項１～６のいずれかに記載の遊技情報表示装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記課題を解決するために、本発明の請求項１に記載の遊技情報表示装置は、

遊技機において遊技を行うための多量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第１特定遊技状態が発生する可能性が低い遊技状態である第１遊技状態と、該第１遊技状態と比較して前記第１特定遊技状態が発生する可能性が高い第２遊技状態を有し、前記各遊技状態において予め定められた抽選条件の成立に応じて前記第１特定遊技状態を発生させるか、もしくは、該第１特定遊技状態と比較して少量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第２特定遊技状態に続いて前記第２遊技状態を発生させる抽選を少なくとも行い、該抽選結果に応じた演出制御を行うとともに、該演出制御後において当該抽選結果に応じた遊技状態とするための遊技状態制御を行う遊技機に対して設けられ、該遊技機における遊技情報を表示するための遊技情報表示装置であって、

前記第１特定遊技状態もしくは第２特定遊技状態が発生している期間を特定可能な特定遊技状態情報が入力される情報入力部と、

前記特定遊技状態情報の入力を検出する特定遊技状態情報検出手段と、

隣接する他の遊技情報表示装置に対して前記第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する連携報知処理の実施を要求する連携報知要求情報を出力する連携報知要求情報出力部と、

隣接する他の遊技情報表示装置から出力される前記連携報知要求情報が入力される連携報知要求情報入力部と、

前記連携報知要求情報の入力を検出する連携報知要求情報検出手段と、

前記第１特定遊技状態の実施時間よりも短く、且つ前記第２特定遊技状態の実施時間よりも長い閾値時間を設定する閾値時間設定手段と、

前記特定遊技状態情報の入力の検出に応じて計時を開始する計時手段と、

前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点において前記特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出しているときには前記第１特定遊技状態の発生と特定し、該第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第１報知処理と、前記連携報知要求情報出力部から前記連携報知要求情報を出力する第１外部出力処理とを含む第１報知制御を実施する一方、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点において前記特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出していないときには前記第１報知制御を行わない特定報知制御手段と、

前記連携報知要求情報検出手段が前記連携報知要求情報の入力を検出したことに基づいて、前記連携報知処理並びに該入力を検出した連携報知要求情報に対応した連携報知要求情報を前記連携報知要求情報出力部から出力する第２外部出力処理を実施する連携報知制御手段と、

備えることを特徴としている。

この特徴によれば、前記遊技機において第１特定遊技状態が発生した場合には、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点においても前記特定遊技状態情報の入力が検出されるので、第１報知制御が実施されて第１特定遊技状態の発生が遊技者に報知されるとともにランニング点灯が実施される一方、前記遊技機において第２特定遊技状態が発生した場合には、前記設定した閾値時間になった時点において第２特定遊技状態が既に終了していることで前記特定遊技状態情報の入力が検出されないので、前記第１報知制御が実施されないことにより、ランニング点灯が行われないようになるので、対応して設けられる遊技機が第２特定遊技状態を発生する遊技機であっても、正しくランニング点灯を実施することができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の請求項３に記載の遊技情報表示装置は、

遊技機において遊技を行うための多量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第１特定遊技状態が発生する可能性が低い遊技状態である第１遊技状態と、該第１遊技状態と比較して前記第１特定遊技状態が発生する可能性が高い第２遊技状態を有し、前記各遊技状態において予め定められた抽選条件の成立に応じて前記第１特定遊技状態を発生させるか、もしくは、該第１特定遊技状態と比較して少量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第２特定遊技状態に続いて前記第２遊技状態を発生させる抽選を少なくとも行い、該抽選結果に応じた演出制御を行うとともに、該演出制御後において当該抽選結果に応じた遊技状態とするための遊技状態制御を行う遊技機に対して設けられ、該遊技機における遊技情報を表示するための遊技情報表示装置であって、

前記第１特定遊技状態もしくは第２特定遊技状態が発生している期間を特定可能な特定遊技状態情報が入力される情報入力部と、

前記特定遊技状態情報の入力を検出する特定遊技状態情報検出手段と、

隣接する他の遊技情報表示装置に対して前記第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する連携報知処理の実施を要求する連携報知要求情報を出力する連携報知要求情報出力部と、

隣接する他の遊技情報表示装置から出力される前記連携報知要求情報が入力される連携報知要求情報入力部と、

前記連携報知要求情報の入力を検出する連携報知要求情報検出手段と、

前記第１特定遊技状態の実施時間よりも短く、且つ前記第２特定遊技状態の実施時間よりも長い閾値時間を設定する閾値時間設定手段と、

前記特定遊技状態情報の入力の検出時点から該特定遊技状態情報の入力の非検出時点までの時間を計時する計時手段と、

前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも長いときには前記第１特定遊技状態の発生と特定し、該第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第１報知処理と、前記連携報知要求情報出力部から前記連携報知要求情報を出力する第１外部出力処理とを含む第１報知制御を実施する一方、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも短いときには前記第１報知制御を行わない特定報知制御手段と、

前記連携報知要求情報検出手段が前記連携報知要求情報の入力を検出したことに基づいて、前記連携報知処理並びに該入力を検出した連携報知要求情報に対応した連携報知要求

情報を前記連携報知要求情報出力部から出力する第２外部出力処理を実施する連携報知制御手段と、

備えることを特徴としている。

この特徴によれば、前記遊技機において第１特定遊技状態が発生した場合には、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも長くなるので、第１報知制御が実施されて第１特定遊技状態の発生が遊技者に報知されるとともにランニング点灯が実施される一方、前記遊技機において第２特定遊技状態が発生した場合には、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも短くなるので、前記第１報知制御が実施されないことにより、ランニング点灯が行われないようになるので、対応して設けられる遊技機が第２特定遊技状態を発生する遊技機であっても、正しくランニング点灯を実施することができる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２０９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２０９】

前記実施例における各要素は、本発明に対して以下のように対応している。

本発明の請求項１は、遊技機（パチンコ機２）において遊技を行うための多量の遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者が獲得可能な遊技状態である第１特定遊技状態（大当り状態）が発生する可能性が低い遊技状態である第１遊技状態（通常遊技状態）と、該第１遊技状態と比較して前記第１特定遊技状態が発生する可能性が高い第２遊技状態（確率変動状態、時短状態）を有し、前記各遊技状態において予め定められた抽選条件の成立（始動入賞口１１４への入賞）に応じて前記第１特定遊技状態を発生させるか、もしくは、該第１特定遊技状態と比較して少量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第２特定遊技状態（小当り）に続いて前記第２遊技状態を発生させる抽選を少なくとも行い、該抽選結果に応じた演出制御（特別可変表示部１０９の全特別図柄の可変表示（変動表示）や遊技効果ランプの点灯演出）を行うとともに、該演出制御後において当該抽選結果に応じた遊技状態（「通常大当り」、「確変大当り」、「小当り」、「確率変動状態」、「時短状態」、「通常遊技状態」）とするための遊技状態制御を行う遊技機に対して設けられ、該遊技機における遊技情報を表示するための遊技情報表示装置（呼び出しランプ装置２００）であって、前記第１特定遊技状態もしくは第２特定遊技状態が発生している期間を特定可能な特定遊技状態情報（大当り信号１）が入力される情報入力部（信号入力部２７８ａ）と、前記特定遊技状態情報の入力を検出する特定遊技状態情報検出手段（制御マイコン２７９）と、隣接する他の遊技情報表示装置に対して前記第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する連携報知処理の実施を要求する連携報知要求情報を出力する連携報知要求情報出力部（２７８ｅ，２７８ｆ）と、隣接する他の遊技情報表示装置から出力される前記連携報知要求情報が入力される連携報知要求情報入力部（２７８ｅ，２７８ｆ）と、前記連携報知要求情報の入力を検出する連携報知要求情報検出手段（制御マイコン２７９）と、前記第１特定遊技状態の実施時間よりも短く、且つ前記第２特定遊技状態の実施時間よりも長い閾値時間（大当り判定閾値時間）を設定する閾値時間設定手段（制御マイコン２７９；大当り判定閾値時間自動設定処理）と、前記特定遊技状態情報の入力の検出に応じて計時を開始する計時手段（制御マイコン２７９；遊技情報更新処理（Ｓｂ１１））と、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点（大当り判定タイマがタイマアップした時点）において、前記特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出しているとき（遊技状態データが「１１０」であるとき）には前記第１特定遊技状態（大当り）の発生と特定し、該第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第１報知処理（Ｓｃ６）と、前記連携報知要求情報出力部から前記連携報知要求情報を出力する第１外部出力処理（ランニング信号出力処理、Ｓｃ９）とを含む第１報知制御を実施する一方、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間になった時点において前記

特定遊技状態情報検出手段が前記特定遊技状態情報の入力を検出していないときには前記第１報知制御を行わない特定報知制御手段（制御マイコン２７９）と、前記連携報知要求情報検出手段が前記連携報知要求情報の入力を検出したことに基づいて、前記連携報知処理並びに該入力を検出した連携報知要求情報に対応した連携報知要求情報を前記連携報知要求情報出力部から出力する第２外部出力処理（割込処理、ＳＷ１１，ＳＷ１２）を実施する連携報知制御手段（制御マイコン２７９）と、備える。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２１１】

本発明の請求項３は、遊技機（パチンコ機２）において遊技を行うための多量の遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者が獲得可能な遊技状態である第１特定遊技状態（大当り状態）が発生する可能性が低い遊技状態である第１遊技状態（通常遊技状態）と、該第１遊技状態と比較して前記第１特定遊技状態が発生する可能性が高い第２遊技状態（確率変動状態、時短状態）を有し、前記各遊技状態において予め定められた抽選条件の成立（始動入賞口１１４への入賞）に応じて前記第１特定遊技状態を発生させるか、もしくは、該第１特定遊技状態と比較して少量の遊技媒体を遊技者が獲得可能な遊技状態である第２特定遊技状態（小当り）に続いて前記第２遊技状態を発生させる抽選を少なくとも行い、該抽選結果に応じた演出制御（特別可変表示部１０９の全特別図柄の可変表示（変動表示）や遊技効果ランプの点灯演出）を行うとともに、該演出制御後において当該抽選結果に応じた遊技状態（「通常大当り」、「確変大当り」、「小当り」、「確率変動状態」、「時短状態」、「通常遊技状態」）とするための遊技状態制御を行う遊技機に対して設けられ、該遊技機における遊技情報を表示するための遊技情報表示装置（呼び出しランプ装置２００’）であって、前記第１特定遊技状態もしくは第２特定遊技状態が発生している期間を特定可能な特定遊技状態情報（大当り信号１）が入力される情報入力部（信号入力部２７８ａ）と、前記特定遊技状態情報の入力を検出する特定遊技状態情報検出手段（制御マイコン２７９）と、

隣接する他の遊技情報表示装置に対して前記第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する連携報知処理の実施を要求する連携報知要求情報を出力する連携報知要求情報出力部（２７８ｅ，２７８ｆ）と、隣接する他の遊技情報表示装置から出力される前記連携報知要求情報が入力される連携報知要求情報入力部（２７８ｅ，２７８ｆ）と、前記連携報知要求情報の入力を検出する連携報知要求情報検出手段（制御マイコン２７９）と、前記第１特定遊技状態の実施時間よりも短く、且つ前記第２特定遊技状態の実施時間よりも長い閾値時間を設定する閾値時間設定手段と、前記特定遊技状態情報の入力の検出時点から該特定遊技状態情報の入力の非検出時点までの時間を計時する計時手段（制御マイコン２７９；遊技情報更新処理）と、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間（大当り判定閾値時間）よりも長いときには前記第１特定遊技状態の発生と特定し、該第１特定遊技状態の発生を遊技者に報知する第１報知処理（Ｓｄ８）と、前記連携報知要求情報出力部から前記連携報知要求情報を出力する第１外部出力処理（ランニング信号出力処理、Ｓｄ１１）とを含む第１報知制御を実施する一方、前記計時手段による計時時間が前記設定した閾値時間よりも短いときには前記第１報知制御を行わない特定報知制御手段（制御マイコン２７９）と、前記連携報知要求情報検出手段が前記連携報知要求情報の入力を検出したことに基づいて、前記連携報知処理並びに該入力を検出した連携報知要求情報に対応した連携報知要求情報を前記連携報知要求情報出力部から出力する第２外部出力処理（割込処理、ＳＷ１１，ＳＷ１２）を実施する連携報知制御手段（制御マイコン２７９）と、備える。